

火災発生時の行動

『知らせる』

火災が発生した時に一番最初に行わなければならないことは、「火事だ！」と叫び周囲に知らせることです。

声が出ないときは物をたたくなど、音を出して知らせましょう。

また、自動火災報知設備などの非常ベルがあれば、発信機のボタンを押して知らせましょう。



『初期消火』

火災の初期段階では火勢が弱く、消火器などで消火することができます。

消火器が近くにない場合は、濡れた布や水バケツで消火しましょう。

火が天井付近まで到達すると、消火器などでは消せないサインです。速やかに避難しましょう。



『避難』

煙の中では、ハンカチなどを口と鼻にあてて姿勢を低くして避難しましょう。

床付近は、煙が少なく視界や呼吸を確保することができます。

煙で前が見えない場合は、壁に沿って逃げましょう。



『通報』

混乱する状況ですが、落ち着いて119番通報をしましょう。

電話で聞かれる内容は主に以下の点です。

- ・住所や近くの目標物
- ・何が（誰が）どうなっているか
- ・自分の名前や電話番号

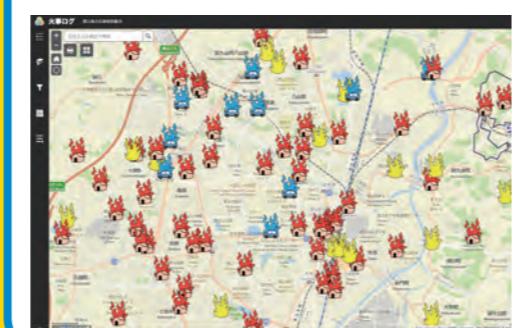


郡山消防 YouTube チャンネル

郡山消防 YouTube チャンネルでは、火災予防や消防署の仕事内容について様々な情報を発信しています。



火事ログ（マップギャラリー）



管内で発生した過去の火災を確認することができます。地域ごとの火災傾向を確認して防火対策を図りましょう。



消防ARマーカー

QRコードを読み取り、画像をスキャンすると、AR写真を撮影することができます。職場やご自宅で楽しみましょう！

※カメラを近づけてマークを読み込んでください



事業所向け防火教育用リーフレット 編集発行
郡山地方広域消防組合
消防本部予防課 TEL 024-923-8172



【組合ウェブサイト】

職場の 防火対策

自分の職場は自分で守る!!



火まもり君
郡山地方広域消防組合

職場の消防用設備等を再確認しよう

火災への備え

- ①避難経路となる通路や階段には、燃えやすい物などを置かない。
- ②日頃から避難訓練や消火訓練を行う。
- ③火を使う設備の点検を行い、正しく取り扱う。
- ④設置されている消防用設備等の取扱方法を把握し、不具合がないか自己点検を行う。



あなたの職場の
消防用設備等は
大丈夫!?

消火器の使い方

消火器は、火災の初期段階に使用するものです。
容易に持ち運ぶことができて、使い方も簡単なので、いざという時のために使い方を覚えましょう。



自動火災報知設備の使い方

自動火災報知設備は、感知器が熱や煙を感知して火災を知らせるものです。
受信機にはどこで火災が起こっているのかが表示されます。

POINT
火災かどうか確認する前に
「音響停止」や「復旧」のボタン
を押してはいけません。

《感知器》熱や煙を感じて、自動でベルを鳴らします。



熱感知器

煙感知器

《発信機》

押しボタンを押すとベルが鳴って、火災を知らせます。

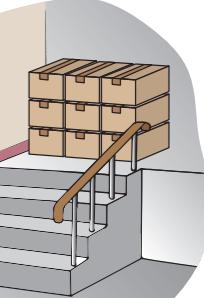
《受信機》

火災の場所を表示します。
近くに置いてある地図で場所を確認できます。



避難経路

避難経路は日頃から整理・整頓しましょう!



屋内消火栓設備の使い方

屋内消火栓設備は、ホースから水を出して消火する設備です。職場に設置されている場合は、どの種類か確認してみましょう。



1号消火栓

2人で使う消火栓で、30m前後のホースが収納されています。

【操作方法】

- 1 押しボタンを押す。
※ポンプが起動します。
- 2 ホースを延ばす。
- 3 バルブを開く。



2号消火栓

1人で使うことができる消火栓で、20m前後のホースが収納されています。

【操作方法】

- 1 バルブを開く。
※ポンプが起動します。
- 2 ホースを延ばす。
- 3 ノズルを開く。



地震発生時の消防用設備等のチェック

地震などにより消防用設備等が以下のような被害を受けることがありますので注意してください。

●スプリンクラーヘッドが破壊され、放水される。
⇒配管用の部屋などに設置されている制御弁を閉鎖することで放水を止めることができます。修理完了後に元の状態に戻すことが重要です。



●消火器が転倒し、破損又は消火薬剤が放射する。
⇒事業所内の消火器を点検し、異常があれば修理しましょう。

制御弁 (スプリンクラー専用)



●誘導灯や屋内消火栓設備などの表示灯が消灯する。
⇒配線などが破損している可能性があります。消防設備事業者などに依頼し速やかに修理しましょう。